

パーキンソン病 最新治療に理解

富山でセミナー

パーキンソン病の最新治療をテーマにした医療セミナーが13日、富山市の富山商工会議所ビルで開かれ、県内の患者や家族ら125人が理解を深めた。

一般社団法人全国介護者支援協議会が県パーキンソン病

友の会の協力を受け、全国で初めて企画した。同協議会によると、患者の多くは在宅で家族の介護を受けており、セミナーは今後の治療や介護に役立ててもらおうのが狙い。

富山大神経内科の高嶋修太郎診療教授が投薬治療などについて講演し、同大脳神経外科の旭雄士助教が手術療法の脳深部刺激療法の利点などを紹介した。脳深部刺激療法を

パーキンソン病の最新治療をテーマにした医療セミナー

富山商工会議所ビル



受けた県内の患者2人が体験を語った。